

「川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境 100 年史」の公開について

○加藤あゆみ、甲啓雄、鈴木英幸（川崎市環境総合研究所）

川崎市環境総合研究所では、前身の公害研究所の時代から環境に関する調査・研究を行っており、当時の職員が撮影した写真等の資料を多数保管しています。これらの資料から、環境の歴史を振り返り、市民の環境に対する誇りを育むとともに市民一人ひとりが環境課題を自分事として捉え脱炭素社会のさらなる実現に向けたきっかけづくりとしていくため、デジタル化した写真等を掲載したウェブサイト「[川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境 100 年史](#)」を公開しました。

ウェブサイトはこちら→



1 はじめに

川崎市環境総合研究所では、前身の公害研究所の時代から環境に関する調査・研究を行っており、当時の職員が撮影した写真を多数保管しています。それらの一部は環境総合研究所のアーカイブスペース（図1）においてタペストリー展示として公開していますが、2024 年の川崎市制 100 周年及び環境総合研究所前身の公害研究所完成から 50 年が経過したことを契機として、これらの資料をより多くの市民が閲覧できるよう、デジタル化したアーカイブの構築に向け取組を進めてきました。本発表では、このデジタルアーカイブの内容や今後の取組について紹介します。



図1 環境総合研究所アーカイブスペース

2 事業内容とねらい

現在本市では、溝口エリアが脱炭素先行地域に選定されるなど 2050 年の脱炭素社会の実現に向けて先進的な取組を進めているところですが、これまでの川崎市を見ると、宿場町から工業都市へと発展する中で起きた公害やごみ焼却施設のひっ迫（図2）などの環境課題の改善に取り組んできており、その過程で蓄積してきた次世代に継承すべき資料が数多くあります。

これらの環境の歴史を振り返り、市民の環境に対する誇り（環境シビックプライド）を育むとともに、市民一人ひとり



図2 ごみ非常事態宣言チラシ

が環境課題を自分事として捉え、脱炭素社会のさらなる実現に向けたきっかけづくりとしていくため、ウェブサイト「川崎市デジタルアーカイブかわさき環境100年史」を開設しました。

本アーカイブは、環境総合研究所所蔵の写真805枚（図3）のほか、過去の市政だよりの環境関連のスクラップ記事（図4）や、市民ミュージアム所蔵の写真（図5）、環境局の広報誌「環境情報」の前身である「公害情報」（図6）をデジタル化したものを約1,550点掲載、年代やカテゴリー別に検索することができるものとなっています。

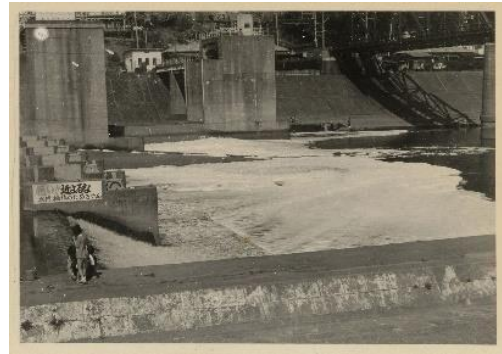


図3 環境総合研究所所蔵写真



図4 市政だよりのスクラップ記事



図5 市民ミュージアム所蔵写真

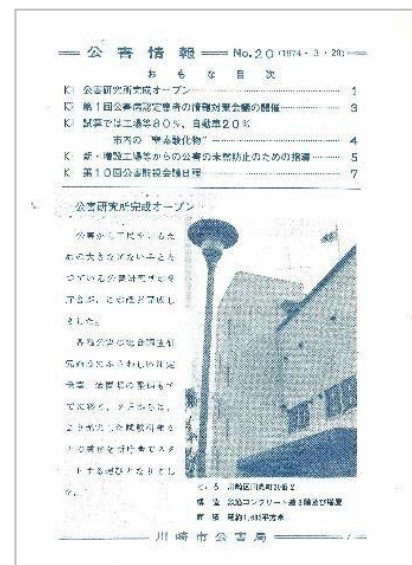


図6 公害情報記事

3 デジタルアーカイブの構築に向けて

前述のとおり、本アーカイブには環境総合研究所や市民ミュージアムの写真のほか、市政だよりのスクラップ記事なども掲載していますが、これらは全て本市職員が1枚1枚写真や記事を確認し選定を行ったものです。環境局職員がプロジェクトチームを立ち上げ、通常業務の傍らそれぞれ作業を行いました。写真や記事の選定後、民間の印刷業者に委託を行い、専門のスキャン機能などを用いてデジタル化しています。掲載している中で一番古いものは1954（昭和29）年の市政だよりのスクラップ記事ですが、高精細なスキャン技術により、一文字ずつ鮮明に閲覧することが可能です。

また、それぞれの写真には簡単な解説（図7）を付していますが、多くの写真は年代が古いため、主に環境行政に携わってきた本市退職職員に依頼し解説文作成に協力してもらったものです。



図7 掲載資料の解説文

4 デジタルアーカイブの構成

デジタルアーカイブのサイトトップページ(図8)には、30秒で本市の環境の歴史を振り返る内容の動画を掲載しており、長編版(約14分)は環境総合研究所の公式YouTubeチャンネルで公開しています。動画の下の写真は、実際にデジタルアーカイブに掲載している写真を何枚か選定しスライドショーにしています。写真をクリックすると、アーカイブのページに遷移します。



図8 デジタルアーカイブトップページ

トップページの下にある「川崎市環境課題への取組のあゆみ」は、「明治・大正」「昭和」「平成・令和」「未来に向けて」の時代ごとに分け、これまでの環境の歴史を振り返るページとなっており、環境総合研究所アーカイブスペースのタペストリーから引用しています。デジタルアーカイブの検索(図9)は、「大気」や「水質」などの分野や、年代などから写真を検索することができます。



図9 デジタルアーカイブ検索

さらに、アーカイブ検索において「大気」や「水質」などの分野をクリックすると、アーカイブページ(図10)に遷移し、掲載写真一覧を確認することができます。



図 10 デジタルアーカイブ掲載データ一覧ページ

5 おわりに

これらの写真等の資料は、川崎の環境の歴史であり次の世代に引き継ぐべき財産であると考えています。今回、これまで紙媒体でしか残っていなかった財産を電子化し、さらに電子化するだけでなくこれからも日常的に管理していくウェブサイト上に掲載することで、これまでの環境の歴史を次の世代に引き継ぐことができるということに、とても意義があることだと感じました。

また、本アーカイブの教育現場での活用に向け教育委員会に働きかけるとともに、令和7年度は、掲載する写真資料等を市民・事業者から公募し、引き続きコンテンツを拡充していきます。こうした取組を通じて、市民・事業者一人ひとりが環境シビックプライドを持ち、これからも脱炭素社会の実現に向けたアクションを起こすことにつながっていきたいと考えています。